

# ふれあい講習会プログラム

港区社会福祉協議会では、障害のある人のお話や各種体験を通して、障害のある人や高齢者の、気持ちや接し方を理解することにより、ボランティア活動への参加促進やノーマライゼーションの普及啓発を目的として、学校・企業・団体等からの依頼に応じて、ふれあい講習会を実施しています。

車いす体験	目的・内容	2人1組で車いす利用者とサポートする人の両方の立場を体験し、車いす利用者の気持ちを理解するとともに、車いすの操作や介助方法を学ぶ。		
	使用機材	車いす		
	所要時間	30分～90分	適正人数	10名～30名程度
視覚障害者・ガイドヘルプ体験	目的・内容	2人1組で視覚障害のある人とサポートする人の両方の立場を体験し、障害を理解するとともにサポートの方法を学ぶ。		
	使用機材	白杖・アイマスク		
	所要時間	30分～60分	適正人数	10名～30名程度
高齢者疑似体験	目的・内容	高齢者疑似体験により、加齢による身体的変化(筋力・視力など)を体験し、身体的状況を理解するとともにサポートの方法を学ぶ。		
	使用機材	高齢者疑似体験セット(14kg程度)		
	所要時間	45分～90分	適正人数	10名～30名程度
手話体験	目的・内容	簡単な手話の体験により、障害を理解するとともにコミュニケーションの基礎を学ぶ。		
	使用機材	—		
	所要時間	45分～90分	適正人数	10名～50名程度
点字体験	目的・内容	点字作成の体験により、障害を理解するとともにコミュニケーションの基礎を学ぶ。		
	使用機材	点字版		
	所要時間	45分～90分	適正人数	10名～40名程度
障害のある人のお話	目的・内容	身体障害・視覚障害・聴覚障害など、障害のある人のお話を聞き、障害を理解するとともにサポートの方法やノーマライゼーションについて学ぶ。		
	所要時間	30分～45分	適正人数	10名～100名程度
	その他	聴覚障害のある人に講師を依頼する場合は、手話通訳者2名程度の派遣もあわせて必要。		
ボランティアについてのお話	目的・内容	ボランティアに関する基礎知識や、心構え・注意点などを学び、ボランティア活動を始めるきっかけとする。		
	所要時間	30分程度	適正人数	10名～100名程度

## 【講習会の申し込み方法・留意事項】

**申し込み**：開催希望の1ヶ月前までに電話でご相談ください。

(その後依頼カードにご記入いただき、ご提出いただきます。)

**費用**：講師への謝礼、手話通訳者派遣等の費用をご負担ください。

**機材**：体験に使用する機材については、港社協～会場まで(往復)の運搬をお願いします。

- \* 上記プログラム内容は目安になりますので、人数・時間等をご相談ください。
- \* 2つ以上のプログラムを組み合わせた講座の開催も可能です。
- \* 必要なスペースはプログラムによって異なりますのでご相談ください。
- \* この他、障害のある人と街で出会ったときのサポートの方法を紹介する

DVD「障害のある人とのふれあいと人権～今まで声をかけられなかったあなたへ～」(23分)の貸出しも行っています。

-問い合わせ-  
ボランティア・地域活動支援係  
(みなとボランティアセンター)  
電話 6230-0284  
FAX 6230-0285